

# くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2018. 8. 23 NO, 228

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319



## 杉並区議会第2回臨時会

### 肺がん見落とし 外部検証委員会設置へ

#### 杉並区議会・全会一致で可決

杉並区の肺がん検診によるがん見落としの死亡事故について、杉並区議会は8月21・22日に臨時会を開会し、外部検証等委員会の設置条例を全会一致で可決しました。外部検証委員会は学識経験者等の4名で構成され、原因究明と再発防止について区長への答申を行ないます。

#### 区への情報提供も不十分のまま 6月1日より同医院で検診を実施

河北健診クリニックでの肺がん見落とし事故の発生は、4月18日に確認されたものにも関わらず、杉並区への情報提供や、その後の対策が実施されるまで時間が費やされました。

6月1日より今年度の区肺がん検診が実施されるため、5月29日、区は、同医院の二次判定・総合判定は杉並区医師会で実施することに變更。見落とし事故の全容が把握されないうまま、検診が実施されることになりました。

#### ■事案の経過と区への対応

4月18日	同医院で肺がんを疑う陰影の見落としを確認。
5月1日	河北医療財団が院内検証委員会の設置を決定。
5月7日	区へ口頭報告。区は委託先の医師会より報告を求める。
5月8日	区は報告第一報を受けるも簡略なため詳細な報告を要請。院内検証委員会終了まで対応できないと回答を受ける。
5月29日	区は今年度の肺がん検診について、同医院の二重読影の実施体制を一部変更。院内検証委員会第一回実施。
6月19日	区に院内検証委員会報告書を提出。区は全容を把握。
6月20日	同医院で実施した区肺がん検診の再読影を要請。

#### ■要精密検査44名の内10名にさらなる検査が必要に

河北健診クリニックでの区肺がん検診では、年間約5000人の区民が受診しており、二重読影を同医院で完結することとなった平成26年9月以降の受診者9424名について、再読影を実施した。再読影の結果、要精密検査者は44名となり、8月21日の保健福祉委員会質疑では要精密検査の結果(8月20日時点)が示された。

区肺がん検診受診者 9424名の内、要精密検査が必要とされた44名の内訳	8月20日 時点で要精密検査を実施済み	8月20日 時点で要精密検査の結果が判明	要精密検査によりさらなる検査が必要
D判定※	17名	11名	7名
E判定※	27名	20名	20名
合計	44名	31名	27名

※D判定…「異常所見を認め、肺がん以外の疾患で治療を要する状態が考えられる」

※E判定…「肺がんの疑い」

#### 事故の原因究明とともに 検診体制のバックアップを

今回の見落とし事故では、区の検診実施マニュアルを順守せず、二重読影に専門医が関わらずに実施されていたことも明らかとなりました。

この間、区の検診自己負担金の引き下げ等により、検診受診者が増加する一方で、専門医の不足等により、検診体制の確保が困難になる事例も発生しています。

杉並区として原因究明と共に、区民検診実施医療機関への支援体制を強化することが必要です。

くすやま美紀の担当活動地域が一部変更

天沼、上荻地域は野垣あきこさんへ  
西荻北地域は山田区議へバトンタッチ

日本共産党杉並地区委員会は2019年4月に実施される杉並区議会議員選挙の予定候補者を決定しました。

日本共産党は、現在の5議席から7議席へと2議席増をめざします。それに伴い、現職議員の担当活動地域が一部変更となります。

私の担当地域として活動してきた天沼、上荻1〜3丁目  
は新人の野垣あきこさんに、西荻北、上荻4丁目は山田耕  
平区議会議員の担当地域となります。



赤斜線部分が野垣あきこさん、  
青斜線部分が山田耕平区議の  
担当地域となります。

天沼、上荻地域のみなさんには5期20年、西荻北地域のみなさんには、3期目からの12年間、大変お世話になり、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

今後、私の担当地域は、荻窪と西荻南地域に縮小となり、厳しい闘いが予想されますが、6期目の当選と、杉並で7議席を何としても勝ち取るために全力で頑張る決意です。

引き続き、みなさんの大きなご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

天沼、上荻、西荻北地域のみなさん  
ありがとうございます！

長年にわたってお世話になった地域と離れることは、本当に辛い思いがあります。しかし、区民が主人公の区政を実現するためには議席増に挑戦することが必要であり、活動地域を狭めても7人全員が当選することが必要です。

地方議会においても、共産党が議席を増やしていくことは、国政での安倍暴走政治を転換するためにも大きな力となります。

野垣あきこさんは、6月に行われた区議会議員補欠選挙の候補者として奮闘しました。若く、行動力のある人です。山田耕平区議会議員は、社会福祉士でもあり、2期目ながら、現在、党区議団の幹事長も務める頼もしい政治家です。

今後、力をあわせて、住民福祉の向上のために、がんばります。

